

平成18年度香川県高松市親善交流派遣小学生親善交流事業報告

小学生親善交流事業を振り返って



屋島にて記念撮影

8月26日・27日の2日間にわたり、旧国分寺町で実施していた「香川県国分寺町」（現高松市）との友好親善交流として小学生派遣事業を実施しました。

「国分寺町」という同町名の所以から交流が始まったわけですが、両町とも、今年の1月10日に合併し、それぞれ新しい市名に変わりました。町名は変わっても今までどおり友好親善を図るため、地域間交流という形で今回の派遣事業を行うことになりました。

今回の派遣団は下野市内の小学6年生17名と引率ボランティア3名に、団長、事務局を合わせた合計23名でした。



交流で「下野市」を紹介

小学生派遣事業ということでは子供たちが主役となるものであったため、現地での交流活動は子供たちが主体的に行うことになりました。地元小学生との交流会では、各人がそれぞれ役割分担し、「下野市」や「各小学校」の紹介を行いました。事前に準備した原稿を高松市に向かう電車の中で引率の先生に添削してもらい、一生懸命、発表の練習をしていましたので、本番では大変上手に発表できました。

また、夕方には地元の「夏祭り」に参加しました。ここでは、大勢の人がいる中であいさつをする場面がありました。とても緊張しているよう



讃岐国分寺跡資料館での見学

に見えましたが、心配をよそに堂々とあいさつをしている姿を見て感心してしまいました。

2日目は、朝食後に金毘羅宮参りを行いました。700段以上の階段を登る前は大変だと考えていましたが、子供たちと一緒に登ることであっという間に登ってしまっただけでした。その後、屋島を見学し帰路に着きました。

2日間という短い時間ではありましたが、高松市の小学生との交流や「讃岐国分寺」の歴史・自然に触れ合うことにより、お互いの友好親善を深めることができたと思います。



本場「讚岐うどん」の試食

また、今回は「下野市」として最初の派遣事業であったため、旧国分寺町の小学生だけでなく旧南河内町からも小学生が参加しており、また別な交流ができたようでした。

今回の交流事業にあたりましては、旧香川県分寺町の方々に非常にお世話になりました。今回の交流事業を通して、参加した子供たちには「友好親善の大切さ」や「人とのふれあい」と同時に、地元への郷土愛も深めてもらい、今後も友好の輪を広げて行って欲しいと思います。（事務局記）